

「巡回建築パネル展」及び「施設見学会」を開催しました！

「公共建築月間」である11月に、公共建築及び公共機関の役割について一般の方々に広く知っていただくことを目的とした「巡回建築パネル展」の開催、また建築技術者への道を歩もうとする学生を対象に、公共建築が果たす役割や営繕業務への理解を深める一助となることを目的とした「施設見学会」を、東北ブロック営繕主管課長会議の主催で開催しました。

【巡回建築パネル展】

今年度のテーマは「震災からの復興、防災・減災対策」と題し、東北各県、仙台市及び東北地方整備局の取組事例をまとめたパネル展を開催しました。

10月31日から12月2日の期間に各県・市の庁舎及び仙台市青葉通り地下ギャラリーでそれぞれ1週間ずつ行い、大規模災害発生時における「東北地方の広域防災拠点施設」として整備した仙台合同庁舎B棟、「原子力災害からの環境回復を進め安心して暮らせる環境を創造するための拠点」として整備した福島県環境創造センターの他、既存施設の耐震改修事例等を紹介しました。

各会場とも、ホールや展示室など来庁者の目にとまる場所での展示となり、多くの方にご覧頂きました。



展示状況(1)



展示状況(2)



展示状況(3)

【施設見学会】

「施設見学会 ～防災機能を備えた行政庁舎を紹介します～」と題し、建築関連学科を専攻する学生を対象に、11月25日の午前と午後の2回開催しました。

見学会では、昨年度完成した仙台合同庁舎B棟のヘリポート、災害対策室、制震装置等の見学のほか、東北地方整備局、宮城県、仙台市の営繕関係の業務や防災関係の取組事例を紹介しました。

参加者からは、「合同庁舎も含め、公共建築はなかなか入れない場所というイメージがあるので、今回のような見学会があり良かったと思います。これからもこのような見学会がありましたらまた参加したいです。」「公共建築に関心を持てた。」等のご意見を頂き、好評のうちに見学会を終了しました。



事前説明状況



災害対策室見学状況



制震装置見学状況